



角田宇宙センターのお仕事紹介

Part 1

角田宇宙センターでは約 170 人がロケットの研究・開発のために働いています。センターで働く人のお仕事紹介をシリーズでお伝えします。第 1 回はセンタートップの所長です。



JAXA 職員の仕事紹介

う え だ し ゅ う い ち
植田 修一 角田宇宙センター所長

プロフィール

大学では工学部機械工学科に所属。私が学生だった 40 年前はコンピュータが実用化されて間もない頃で、大学では水や空気の流れをコンピュータ上で再現する方法を研究していました。学生時代、得意だった科目は数学（数学者は早々にあきらめましたが）、苦手だったのは英語（今も苦労しています）でした。



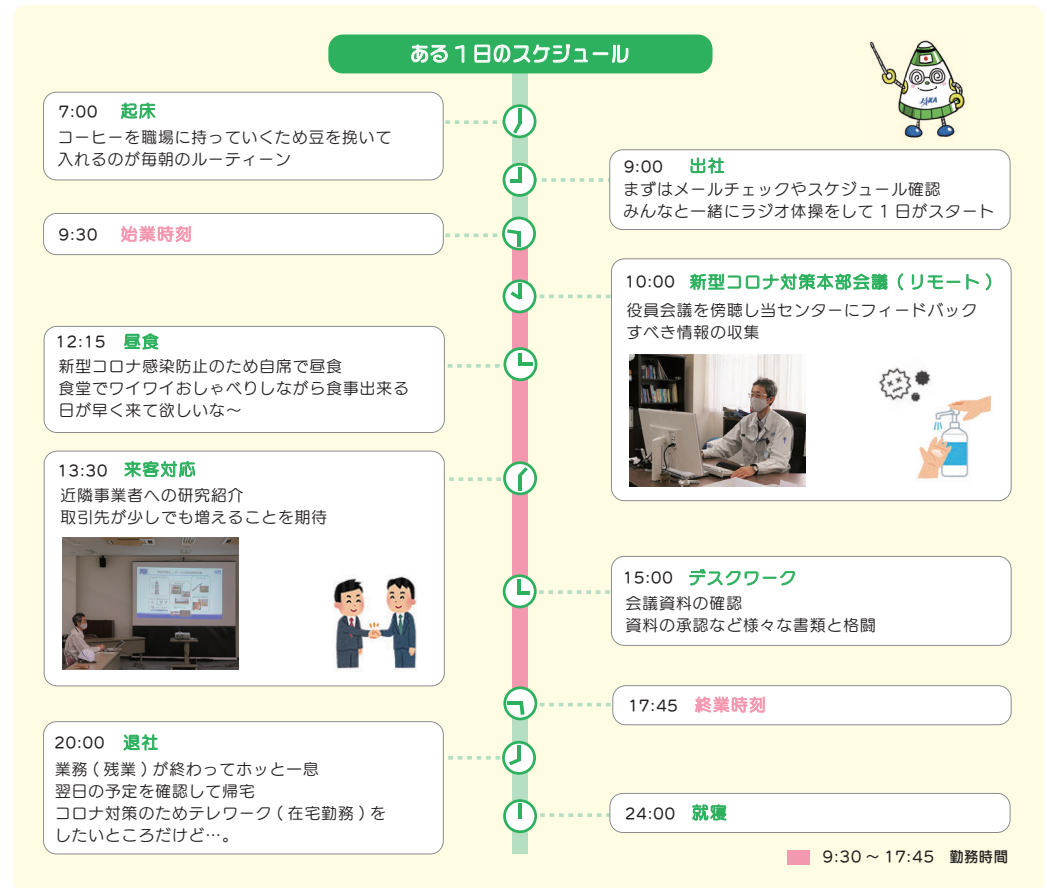
これまで携わってきた業務と現在の仕事内容

衛星用の液体ロケットエンジンの開発に携わった後、空気吸い込み型のエンジン（スクラムジェットエンジン）の研究に参加しました。ドイツの宇宙機関に留学し、高温衝撃風洞（HIEST）という世界最大の風洞設備の建設、小型ロケットを利用したエンジン実験などを経験した後、角田宇宙センターの管理業務を行うようになり、現在は所長を務めています。

Q&A

- Q** この仕事に興味を持ったきっかけは何ですか？
A 私は JAXA に統合される前の「航空宇宙技術研究所」に研究者として入所しました。日本は科学技術立国となることを掲げていたのでその一翼を担いたと思いました。
- Q** この仕事の魅力・やりがいを教えてください
A 日本の（場合によっては人類の）科学技術の進歩に貢献できる（かもしれない）ことです。
- Q** どういう人が研究・開発の仕事に向いていると思いますか？
A 「研究」には問題を作ることが得意な人、「開発」には問題を解くことが得意な人が向いていると思いますが、共通するのは壁に当たってもめげない楽観的な性格でしょうか。
- Q** ロケットエンジンの研究・開発の仕事をするためには、高校や大学などでどのような分野を学び、どのような力を付けることが大事でしょうか？
A 現在のロケットエンジンは水素などの燃料を燃やしていますが、エンジンで動いていた車が電気自動車になりつつあるように、皆さんが社会に出る 10 年後には今とは全く違うロケットエンジンの研究・開発が行われているかもしれません。
どの分野でも基礎的な力をしっかり付けてください。

- Q** 学生時代、どんな事に取り組んでいましたか？
A 私の場合は、勉強以外だと本を読んで旅行して友人といろいろ議論していました。なんでもいいので「もうこれ以上は無理」というくらい打ち込めることがあると良いと思います。
- Q** 中学生のうちに来ることはありますか？
A 若い時から将来の夢を持つのもいいですが、世界はどんどん変わっていくので**夢以外のことも面倒がらずにトライ**してみたいです。



宇宙を目指す皆さんに向けてメッセージをお願いします！

「私は理科が苦手だから JAXA は無理かな」と思っている方もいるかもしれませんが、JAXA には技術者だけでなく、サポートする側のお仕事も沢山あります。「いつか宇宙の仕事がしたい」と思っているなら、どんな分野でもいいのでとことん突き詰めてチャンスをつかんでください。